

夢 希望

1月9日は「成人の日」。
常陸大宮市でも、6222人(男2992人、女330人)の方が今年成人を迎えました。
祝日法によれば、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日とあります。
成人することにより、選挙権など諸権利を手にすると同時に、社会的な義務も負い、自立した責任ある行動が求められるようになります。
今年成人された皆さんが、大人としての自覚を持ちつつ、夢や希望を忘れずに社会の中を力強く歩んでいってくださることを期待しています。



▲▼はたちの主張を述べる引田吉泉さん(上)と寺門敬介さん(下)



▼実行委員長あいさつをする川澄結子さん



祝 成人

責 義 任 務

常陸大宮市の平成18年成人式が、1月7日、市文化センターで行われ、振り袖や袴、真新しいスーツなどに身を包んだ512人が参加しました。式典は主催者あいさつ、成人者への記念品贈呈、来賓の方々からのお祝いの言葉に続き代表者2名による「はたちの主張」が述べられました。また、アトラクションとして実行委員会主催による抽選会が行われ、当選番号が発表されるたびに会場から歓声があがりました。式典後はロゼホール前広場において記念撮影が行われ、広場前は色とりどりの晴れ着が並び、通りがかった方達も足をとめて見とれるほどでした。
仲間と共にこの日を迎えられる喜びに、成人した皆さんの顔はとても晴れやかで、広場は、当日の晴天にもまして輝きにあふれていました。



心村 佑紀 (大宮中)



- ①責任感と保育士の仕事に誇りを持ち、いつも笑顔でみんなに元気を与えられる先生を目指し頑張りたい
- ②子どもについてや子どもが興味のあること
- ③保育士。幼稚園からの夢が4月に実現します。
- ④両親。自分のことより子どもの幸せや将来を一番に考えてくれる。
- ⑤20年間育ててくれて、一番の支え、助け、相談相手でいてくれてありがとう。いつも近くにいるからこそなかなか言えないけど、心から感謝しています。
- ⑥合併したことを大切に各地域が交流できる場を設け、今後も一人ひとりの意見に耳を傾けて発展してほしい。
- ⑦子どもが安心して遊べる場が少ない気がします。大人の娯楽施設だけでなく、テーマパーク的なものができれば良いと思います。また、駅の周りがもっと明るくなると良いと感じます。

心山 拓 (第二中)



- ①自分の言動、行動への責任を持ち、人の役に立てる人間になる
- ②この先の自分の未来
- ③幸せな家庭を築いて価値ある人生を送ること
- ④家族(父・母・弟)
- ⑤ここまで育ててくれた恩は、今までも、これからも忘れません…。ありがとう。
- ⑥福祉関係施設の充実
- ⑦もっと人が集まって交流できる場所をつくる

心井田 有史 (山方中)



- ①警察官としての自覚を持ち、犯人をたくさん捕まえる
- ②日本の政治
- ③多くの犯人を捕まえる
- ④和久平八郎、人情のある警察官
- ⑤今までありがとうございました
- ⑥夢と希望とファンタジーに溢れる市
- ⑦外灯を増やす

心澤 衣里 (美和中)



- ①社会を支える者の1人として認められる人になりたい
- ②食育
現代の健康は正しい食生活から!
- ③管理栄養士
- ④母
- ⑤今まではまだまだ頼りっぱなしだったので、この日を機会に少しずつですが自立して頑張ります。
- ⑥自然を残しつつ、市全体の都市化
- ⑦いろんなイベントを開催して、みんなのふれ合う場を!!

はたちのきもち

=質問=

- ①成人を迎えての決意・今後の目標
- ②今一番興味があること
- ③将来の夢
- ④尊敬する人・目標とする人
- ⑤お父さん・お母さんに一言
- ⑥常陸大宮市に希望すること
- ⑦常陸大宮市への私の提案

心大貫 彰子 (第一中)



- ①車の免許をとる
- ②これからの日本
- ③セレブになりたい
- ④織田信長
- ⑤いろんな迷惑かけたけど、大好きです。これからも仲良くしてこうね。
- ⑥茨城の代表になってほしい
- ⑦外灯を増やす

心阿久津 豊 (緒川中)



- ①大人として恥ずかしくない行動をとれる人になりたい。
- ②ファッション
- ③周りに信用、信頼される人になる
- ④両親
- ⑤長生きしてくれ!!
- ⑥子どもが安全に暮らせるまちにしてほしい
- ⑦もっと人が集まってくるようなまちに

心小林 真悟 (御前山中)



- ①周りに流されず自分の考えを明確化し、自己責任を持って行動する
- ②青年海外協力隊のボランティア活動
- ③消防士になり人命を助けること
環境保全のボランティアにも参加し、自然を大切にしていこう
- ④両親
仕事や家事など当たり前のことを当たり前になさず姿を見ているので
- ⑤今まで育ててくれてありがとう。これからは迷惑をかけるとは思うけど、その時はよろしくお願いします。そして、働くようになったら親孝行します。
- ⑥幅広い年代の人たちが、楽しく安全に過ごせるまちづくり
- ⑦思い出のある母校を大切にしてもらいたい